

YAMAHA
PORTATONE

PSR-185
PSR-77

取扱説明書

ごあいさつ

このたびはヤマハポータートーンPSR-185/77をお買いもとめいただき、まことにありがとうございます。PSR-185/77のさまざまな機能を十分に活用するために、この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。なお、読み終わった後も、保証書とともに大切に保管して、操作のしかたがわからないときにお読みください。

PSR-185/77の特長

バラエティ豊かでリアルな100音色（AWMサウンド）

さまざまなリズム / 伴奏スタイル（100種類）

いろいろなジャンルのデモ20曲（デモンストレーション演奏）、その曲でマイナスイオン演奏もOK。

メロディ演奏が自由に楽しめるジャムトラック（コード進行付の伴奏：20パターン）

サウンドエフェクト（効果音）やドラム音色が鳴らせるパッド（PSR-185）

ステレオスピーカーによるダイナミックサウンド（PSR-185）

目次

演奏の準備	1
電源の準備	1
ヘッドフォンを使うときは	1
譜面立ての取り付け方	1
PSR-185/77各部の名称	2
デモ曲を鳴らしてみましよう（基本的な操作方法の説明）	4
基本的な操作方法	4
ボイス（音色）を選んで、演奏してみましよう	6
ボイスの選び方	6
パーカッションボイスについて	7
いろいろなスタイル（伴奏）で演奏してみましよう	8
スタイルの選び方	8
マルチフィンガリングについて	10
デモ曲をマイナスイオン演奏してみましよう	11
ジャムトラックを使って演奏してみましよう	12
ジャムトラックコード進行リスト	13
ワンタッチセッティングを活用してみましよう	14
パッドを鳴らしてみましよう（PSR-185）	15
デモ曲（ソング）楽譜集	16
ワンタッチセッティングリスト	26
故障かな？と思ったら	27
オプション（別売）商品のご紹介	27
PSR-185/77仕様	28

ご使用になる前に



使わないときは……

電源スイッチを切ってください。

電源アダプターを使用した時は、家庭用コンセントから抜いてください。

長い間使わない時は、乾電池を取り出してください。



こんな所には置かないで……

ストーブなど暖房器具の近く、直射日光の当たる場所、日中の車の中など、極端に温度が高くなる場所。

湿気の多いところ、ホコリの多いところ。



近くで使わないで……

ラジオやテレビの近くで使うと、ラジオやテレビ側で雑音が発生することがあります。十分に離してお使いください。



乱暴に扱わないで……

落としたり、物をぶつけたり、パネルや鍵盤やケーブルの上に物を置かないでください。傷がついたり、故障の原因となることがあります。



美しく保つために……

汚れは柔らかい布でカラぶきしてください。また汚れのひどい時は、少し水で湿らせた布でふいてください。（アルコールやシンナー類は、絶対に使わないでください。）

ビニール製品を上には置かないでください。貼り付いてしまうことがあります。

不適切な使用による故障につきましては、保証いたしかねる場合がございます。

音楽を楽しむエチケット

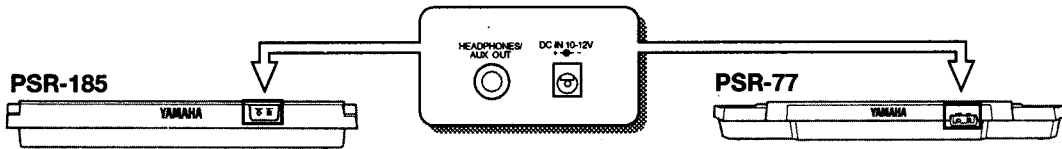


これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークで

す。
楽しい音楽も時と場所によってはたいへん気になるものです。隣近所への配慮を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。適度な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

ヘッドフォンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

演奏の準備

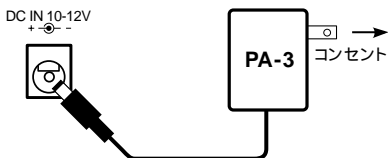


電源の準備

PSR-185/77は電源として、家庭用コンセントと乾電池の両方を使うことができます。

家庭用コンセントから電源をとるときは
付属の電源アダプターPA-3をご使用ください。

- 1 アダプターのプラグをリアパネルの電源アダプター端子（DC IN 10-12V端子）へさし込みます。
- 2 アダプターを家庭用（AC100V）コンセントにさし込みます。

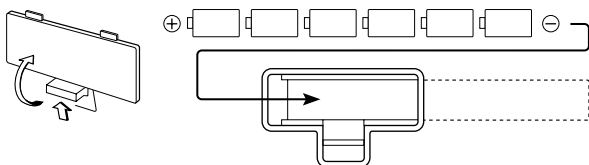


注意

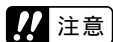
電源アダプターをご使用になる場合は、必ず付属の専用アダプターPA-3をご使用ください。他の電源アダプター使用による障害は、保証期間内でも保証いたしかねる場合がございますので、充分にご注意ください。

乾電池を使うときは

- 1 PSR-185/77を柔らかい布などの上で裏返し、電池ブタをはずします。
- 2 市販の乾電池（単1乾電池）を6本入れます。イラストに合わせて、向きを間違えないように入れてください。



- 3 電池ブタを閉めます。



注意

乾電池は早めにおとりかえいただくことをおすすめします。電池が少なくなると、音小さくなったり、音が歪んだり、音が出なくなったりすることがあります。このような場合は、6本とも新しいものと交換してください。危険ですので、古い電池と新しい電池、種類の異なる電池（たとえば、アルカリとマンガンなど）、異なるメーカーの電池を混ぜて使用しないでください。なお、乾電池をお買い求めの際は『単1乾電池6本』とご指定ください。



メモ

乾電池が入っていても、電源アダプターが接続されると、自動的に電源アダプターから電源が供給されるようになります。

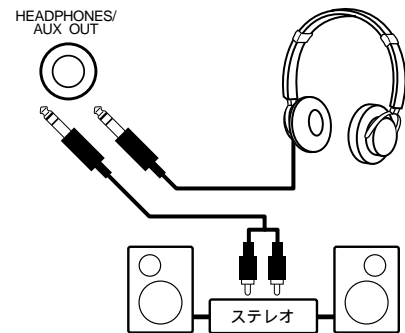
電源を入れたまま約30分間何の操作もしないと、自動的に電源が切れます。（オートパワーオフ機能）

ヘッドフォンを使うときは

（ヘッドフォン/外部出力端子について）

一人で静かに練習する時や、夜間に演奏する時は、ヘッドフォン（ヤマハ HPE-3/150 [別売] など）のプラグをリアパネルのヘッドフォン/外部出力端子（HEADPHONES/AUX OUT端子）に接続してご利用ください。接続すると自動的にPSR-185/77のスピーカーから音が出なくなります。

また、この端子は音声信号を出力する端子も兼ねていますので、ステレオ、ラジオカセットなどの入力端子と接続すれば、PSR-185/77の演奏をそれらの機器で鳴らすことができます。（ステレオフォン→ピンプラグをご使用ください。）



メモ

ヘッドフォンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

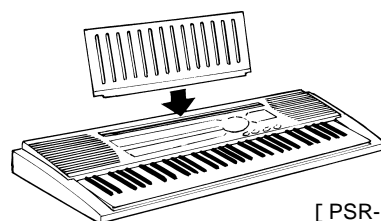


注意

再生するスピーカーなどの損傷を防ぐため、外部機器との接続は、外部機器の音量を最小にしてからおこなってください。

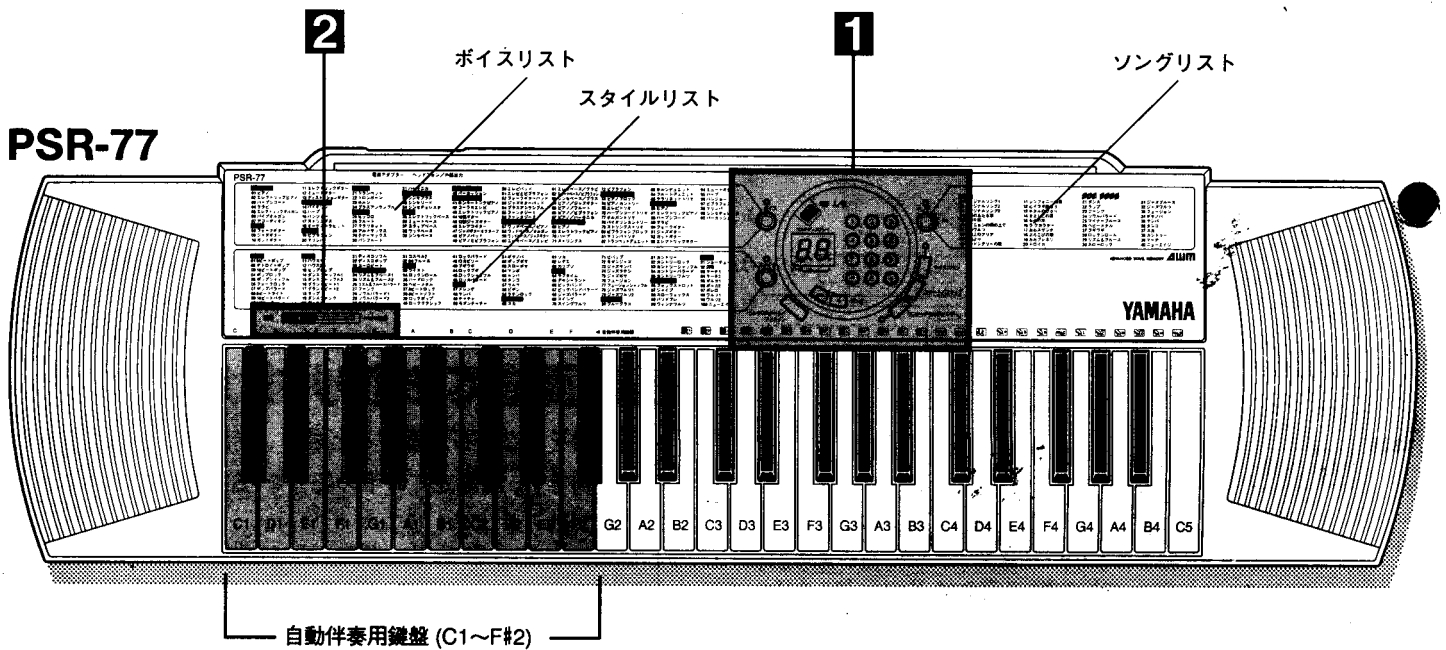
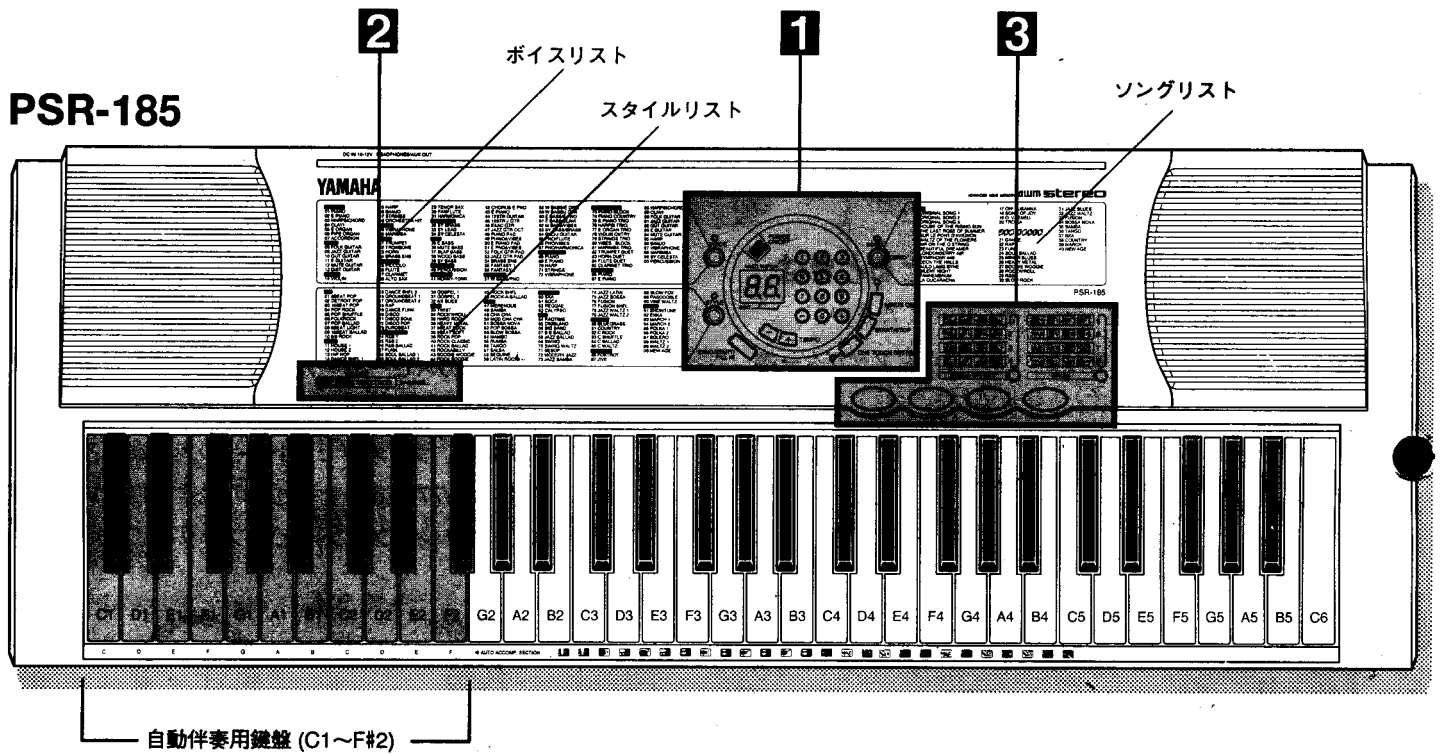
譜面立ての取り付け方

楽譜を見ながら演奏するときは、譜面立てを利用すると便利です。譜面立ての下の部分をPSR-185/77のパネル上のスロットに差し込んでください。



[PSR-185の場合]

PSR-185/77各部の名称



PSR-185の本体パネルは英文で表記されていますが、この取扱説明書は和文で表記/説明いたしますので、付属の和文シートをパネルにセットしてご利用ください。

1

電源 入 / 切 (POWER ON/OFF) ボタン → 4 ページ
電源を入れる時 / 切る時に押すボタンです。

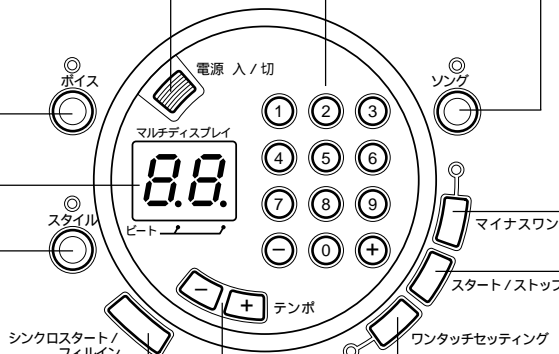
ナンバー [1] ~ [0], [+], [-] ボタン → 4 ページ
ボイス / スタイル / ソングなどのナンバーをセットするボタンです。

ソング (SONG) ボタン → 4, 11, 12 ページ
ソング (デモ曲、ジャムトラック) を選ぶ時に押すボタンです。

ボイス (VOICE) ボタン → 6 ページ
ボイス (音色) を選ぶ時に押すボタンです。

マイナスワン (MINUS ONE) ボタン → 11 ページ
ソング (デモ曲) のマイナスワン演奏のオン / オフを切り替えるボタンです。

マルチディスプレイ (MULTI DISPLAY) → 4 ページ
ボイス / スタイル / ソングのナンバーやビート (拍) などを表示するディスプレイです。



スタイル (STYLE) ボタン → 8 ページ
スタイルを選ぶ時に押すボタンです。

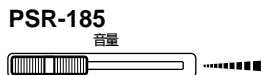
スタート / ストップ (START/STOP) ボタン → 5, 9 ページ
伴奏やデモ曲などをスタート / ストップするボタンです。

シンクロスタート / フィルイン (SYNC-START/FILL IN) ボタン → 9 ページ
鍵盤を押して伴奏やソングをスタートしたり、演奏途中にフィルインを入れる時に押すボタンです。

テンポ (TEMPO) [+], [-] ボタン → 5 ページ
伴奏やデモ曲などのテンポ (曲の速さ) を調整するボタンです。

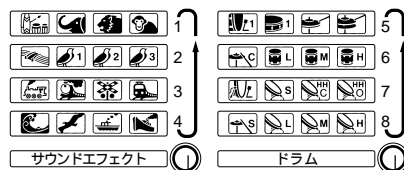
ワンタッチセッティング (ONE TOUCH SETTING) ボタン → 14 ページ
選んだスタイルやソングに最適なボイスをワンタッチでセットするボタンです。

2



音量 (VOLUME) コントロール → 5 ページ
PSR-185/77の音量を調整します。

3 PSR-185



4 パッド → 15 ページ
サウンドエフェクト (効果音) やドラム / パーカッション (打楽器) 音色を鳴らすパッドです。

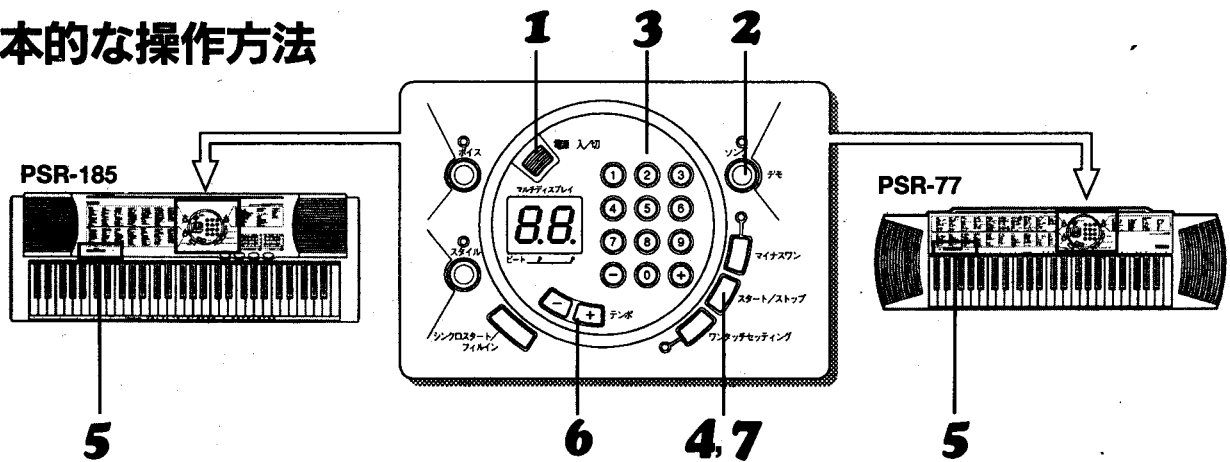
サウンドエフェクト (SOUND EFFECT) ボタン → 15 ページ
パッドのサウンドエフェクトを切り替えるボタンです。

ドラム (DRUM) ボタン → 15 ページ
パッドのドラム音色を切り替えるボタンです。

デモ曲を鳴らしてみましよう (基本的な操作方法)

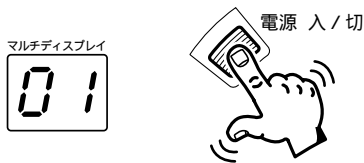
PSR-185/77はボイス/スタイル/ソングボタンとナンバー [1] ~ [0], [+], [-] ボタン、テンポ [+], [-] ボタン、スタート/ストップボタン、ボリュームコントロールをつかって基本的な操作をおこないます。まずデモ曲 (ソング) を鳴らしながら、この操作を覚えましょう。

■ 基本的な操作方法



1 電源を入れます。

電源 入/切ボタンを押して、電源を入れます。電源が入ると、ボイスランプが点灯し、マルチディスプレイにボイスナンバー01が表示されます。



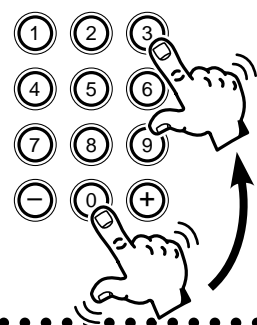
PSR-185/77には3つのモードがあります。ボイス/スタイル/ソングボタンを押してランプを点灯させると、モードを選ぶことができます。

- ボイスボタン 鍵盤で演奏する音色を選ぶとき
- スタイルボタン ... 伴奏のリズムスタイルを選ぶとき
- ソングボタン デモ曲/マイナスイオン演奏する曲やジャムトラックを選ぶとき

3 ナンバー [1] ~ [0], [+], [-] ボタンを使ってソングナンバーを選びます。

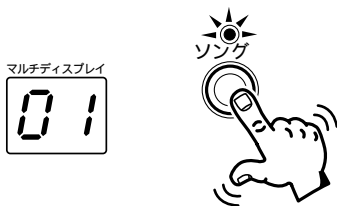
ナンバー [1] ~ [0] ボタンは、各モード (ボイス/スタイル/ソング) のナンバーを選ぶときに使用します。ナンバーは「10の位」、「1の位」の順番に2つのナンバーボタンを押してください。

たとえば、ソングモードで「03オリジナルソング3」を選ぶ場合は、[0] (10の位)、[3] (1の位) の順番でナンバーボタンを押します。



2 ソングボタンを押して、ランプを点灯させます。

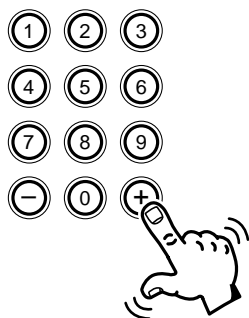
ソングボタンを押してソングランプを点灯させると、ソングモードになります。マルチディスプレイには、選ばれているソングナンバーが表示されます。



メモ 電源を入れた時、ソングナンバーは01が選ばれています。

[+], [-] ボタンを押してナンバーを変えることもできます。[+] ボタンを一度押すとひとつ大きなナンバーに変わり、[-] ボタンを一度押すとひとつ小さなナンバーに変わります。押し続けると、ナンバーは連続で増減します。

たとえば、ボイスナンバー00を選んだ後に [+] ボタンを一度押すと、ボイスナンバー01に変わります。



ナンバーのキャンセル (取り消し)

10の位のナンバーボタンを押した後、10秒間何の操作もしないと、10の位のナンバーは自動的にキャンセルされます。また、10の位のナンバーボタンを押した後、ナンバー [1] ~ [0] ボタン以外のボタンを押しても、キャンセルされます。



ワンタッチセッティングランプが点灯している時にソングを選ぶと、そのソングのメロディに使われているボイスが自動的に選ばれます。(14ページ参照)

4 デモ曲をスタートします。

スタート/ストップボタンを押すとデモ曲が始まり、ソングナンバーの順番に次々とデモ曲が演奏されます。(ソングナンバー「20トロイカ」の演奏が終了すると、ソングナンバー「01オリジナルソング1」の演奏が始まります。)



デモ曲をスタートさせると、選ばれていたスタイルは、そのデモ曲で使用されているスタイルに変更されます。(8ページ「スタイルの選び方」参照)

5 音量を調整します。

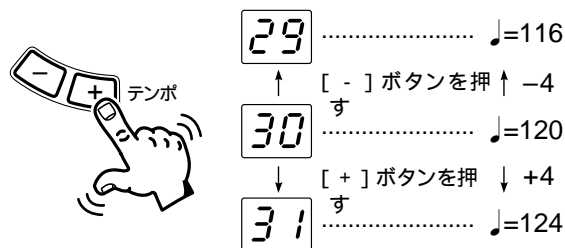
音量コントロールを左方向に動かすと音量が小さくなり、右方向に動かすと音量が大きくなります。



6 テンポを調整します。

テンポ [+], [-] ボタンのどちらかを押すと、マルチディスプレイに表示されているテンポが表示されます。テンポ [+] ボタンを押すとテンポが速く、[-] ボタンを押すとテンポが遅くなり、[+], [-] ボタンを同時に押すと標準テンポ (各デモ曲の最適なテンポ) に戻ります。[+]、または [-] ボタンを押し続けると、ディスプレイのテンポ表示が連続で増減します。なお、設定範囲は♩=40~240ですが、マルチディスプレイの表示は実際のテンポの数値の1/4 (10~60) となり、[+], [-] ボタンを押してディスプレイの数値が1ずつ増減すると、実際のテンポの数値は「4」ずつ増減します。

ディスプレイ表示 実際のテンポ

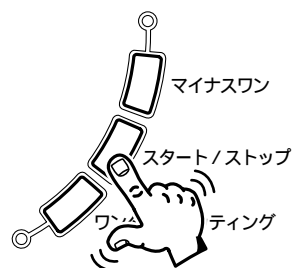


デモ曲を選ぶと、そのデモ曲に適した標準テンポが自動的に設定されます。

テンポ [+], [-] ボタンを押した後、約2秒間何の操作もしないと、マルチディスプレイは自動的にボイスナンバー/スタイルナンバー/ソングナンバー表示のいずれかに戻ります。

7 デモ曲をストップします。

スタート/ストップボタンを押すと、デモ曲の演奏が止まります。



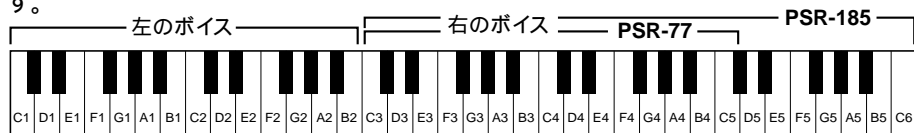
ボイス（音色）を選んで、演奏してみましょう

PSR-185/77には、先進のAWM（アドバンスド・ウェーブ・メモリー）音源を利用した高品質な100種類のボイスがはいっています。100音色の中には以下のような効果がついた音色もあります。

パーカッションボイス（40/00） 鍵盤を弾いて、いろいろなパーカッションサウンドが楽しめます。パーカッションリストは7ページを参照してください。

デュアルボイス（41～56） 鍵盤を弾くと2つのボイスが重なって鳴ります。

スプリットボイス（57～67） C3より右の鍵盤で一つのボイス、B2より左の鍵盤でもう一つのボイスが演奏できます。



サステインボイス（68～72） サステイン（余韻効果）がかかったボイスです。

ハーモニーボイス（73～85） 演奏した音に加え、1～3音のハーモニー音が自動的に付きます。

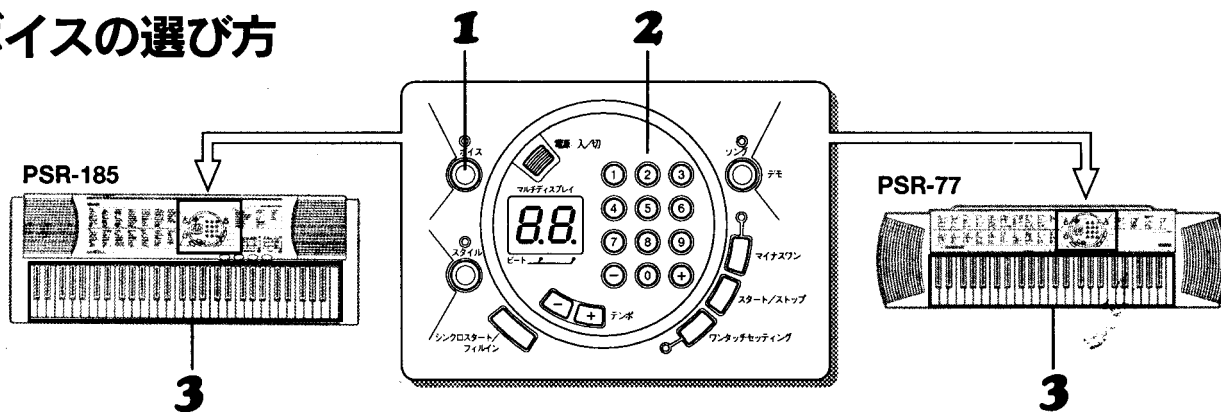
エコーボイス（86～00） エコー（こだま効果）がかかったボイスです。



ハーモニーボイスで演奏できるのは1音だけです。複数の鍵盤を押さえると、いちばん最後に押さえられた音に対してハーモニー音が付けられます。また、スタイル、ソング/ジャムトラックを演奏していない時は、Cコードを基本としたハーモニー音が付けられ、スタイル演奏中、ストップアカンパニメント（9ページ参照）演奏中は、押さえられたコード（10ページ参照）を基本としたハーモニー音が付けられます。ソング/ジャムトラック演奏中は、ソング/ジャムトラックのコードを基本としたハーモニー音が付けられます。

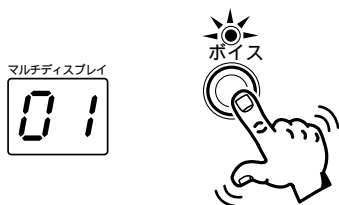
ボイスごとに、最適な音域が鍵盤にセットされています。

1 ボイスの選び方



1 ボイスボタンを押して、ランプを点灯させます。

ボイスボタンを押してボイスランプを点灯させると、ボイスモードになります。マルチディスプレイには、選ばれているボイスナンバーが表示されます。



2 ナンバー [1] ~ [0], [+], [-] ボタンを使ってボイスナンバーを選びます。

ナンバー [1] ~ [0] ボタンを使って、ボイスナンバーを選びます。ナンバーは「10の位」、「1の位」の順番に、2つのナンバーボタンを押してください。

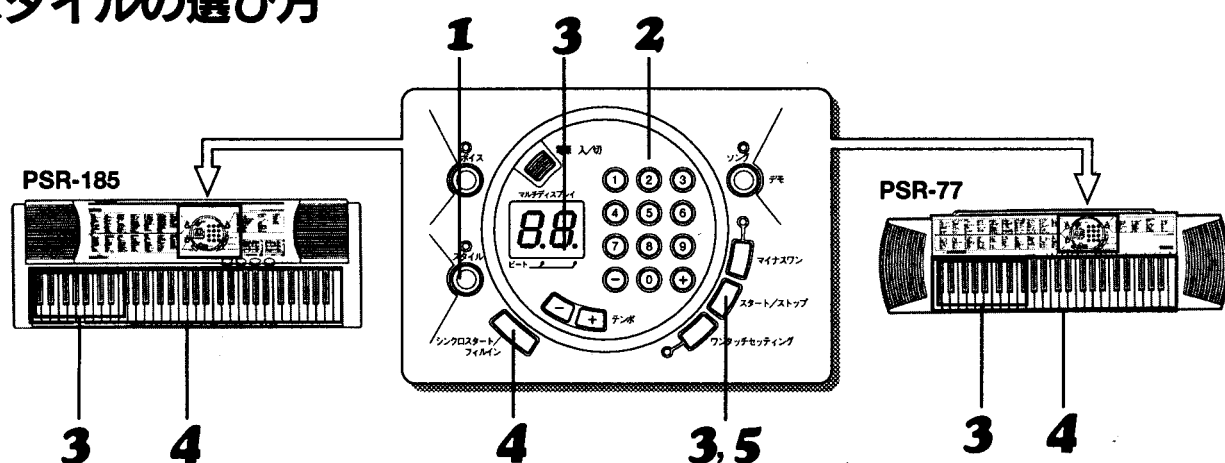
[+]、[-] ボタンを押してナンバーを変えることもできます。[+] ボタンを一度押すとひとつ大きなナンバーに変わり、[-] ボタンを一度押すとひとつ小さなナンバーに変わります。押し続けるとナンバーは連続で増減します。

いろいろなスタイル（伴奏）で演奏してみましょ

PSR-185/77は、100種類のリズム／伴奏のスタイル（自動伴奏機能）を持っています。「自動伴奏機能」とは、鍵盤の下部（PSR-77は鍵盤上部）にプリントされている◀より左の自動伴奏用鍵盤で演奏されたコードに応じて、伴奏（ベース音とコード音）が演奏されるという機能です。

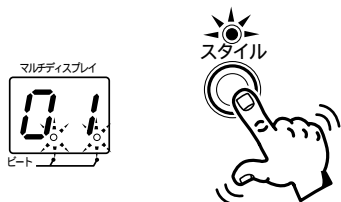
自分の好みのスタイルを選び、自動伴奏機能を使って演奏してみましょう。

スタイルの選び方



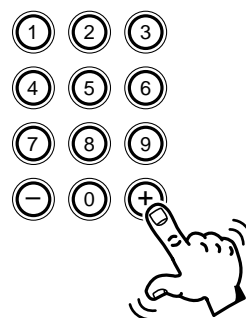
1 スタイルボタンを押して、ランプを点灯させます。

スタイルボタンを押して、スタイルランプを点灯させると、スタイルモードになります。マルチディスプレイには、選ばれているスタイルナンバーが表示され、ビートディスプレイの2つのLEDドットが点滅して、シンクロスタート待機状態になります。



メモ シンクロスタート待機状態で、シンクロスタート／フィルインボタンを押すと、シンクロスタート待機状態は解除されます。

[+], [-] ボタンを押してナンバーを変えることもできます。[+] ボタンを一度押すとひとつ大きなナンバーに変わり、[-] ボタンを一度押すとひとつ小さなナンバーに変わります。押し続けると連続でナンバーが増減します。



メモ 電源を入れた時、スタイルナンバーは01が選ばれています。

2 ナンバー [1] ~ [0], [+], [-] ボタンを使ってスタイルナンバーを選びます。

ナンバー [1] ~ [0] ボタンを使って、スタイルナンバーを選びます。ナンバーは「10の位」、「1の位」の順番に、2つのナンバーボタンを押してください。

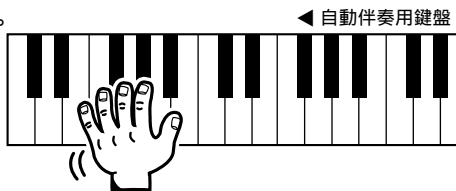
リズムがストップしている時にスタイルを選ぶと、そのスタイルに適した標準テンポが自動的に選ばれますが、リズム演奏中にスタイルを変更してもテンポは変わりません。

ワンタッチセッティングランプが点灯している時にスタイルを選ぶと、そのスタイルに最適なボイスが自動的に選ばれます。（14ページ参照）

3

自動伴奏をスタートします。

自動伴奏用鍵盤でコードを押さえると、押鍵と同時にリズム/伴奏がスタートします(シンクロスタート)。押さえたコードと選ばれたスタイルに従って伴奏が演奏されます。



PSR-185/77の自動伴奏は、マルチフィンガリングというコード検出方法で演奏されます。詳細は10ページを参照してください。

スタート/ストップボタンを押して自動伴奏をスタートすることもできます。この場合、まずリズムだけの演奏が始まり、◀より左の自動伴奏用鍵盤でコードを押さえると伴奏がスタートします。押さえたコードと選ばれたスタイルに従って伴奏が演奏されます。



メモ

伴奏の演奏中も、ボイスを変更することができます。ボイスボタンを押してから、ボイスを変更してください。

ボイスランプの点灯中に、スタート/ストップボタンを押すと、選ばれているスタイルのリズムだけが演奏されます。

伴奏の演奏中にスタイルを変更すると、次の小節から新しいスタイルの伴奏が始まります。

スタイルランプの点灯中、伴奏をスタートさせずに(シンクロスタート/フィルインボタンを押すと、シンクロスタート待機状態は解除されます)、自動伴奏用鍵盤でコードを押さえると、すべてのスタイルに共通のベース音とコード音が鳴ります。(ストップアカンパニメント)

伴奏の演奏中にソングボタンを押すと、次の小節から選ばれているデモ曲/ジャムトラックが演奏されます。

ビートディスプレイについて

リズム/伴奏の演奏中は、マルチディスプレイ下部の2つのLEDドットが、設定されたテンポに従って図のように点滅し、ビート(拍)を表示します。(デモ曲/ジャムトラックの演奏中も同様に点滅します。)



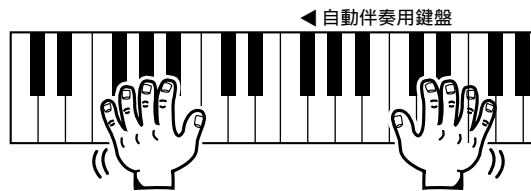
4拍子系 3拍子系

- 1拍目
- 2拍目
- 3拍目
- 4拍目

4

自動伴奏に合わせてメロディを演奏します。

左手でコードを変えながら、◀より右の鍵盤を使って、伴奏に合わせてメロディを演奏してみましょう。



メモ

5ページの「6.テンポを調整します」を参照して、自分の演奏しやすいテンポに調整しましょう。

フィルイン

フィルインとは、曲の流れに区切りをつけて、演奏を盛り上げるパターンです。フィルインのパターンはスタイルごとに異なります。

演奏中にシンクロスタート/フィルインボタンを押すと、次の拍からフィルインが演奏されます。



メモ

小節内の最終拍以降に、シンクロスタート/フィルインボタンを押すと、次の小節からフィルインが始まります。

シンクロスタート/フィルインボタンを押し続けると、フィルインが繰り返し演奏されます。

5

自動伴奏をストップします。

スタート/ストップボタンを押すと、簡単なエンディングが演奏された後、伴奏がストップします。



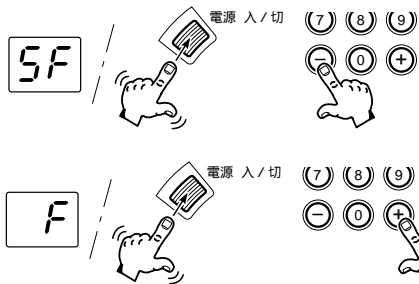
メモ

伴奏がストップすると、ビートディスプレイが点滅して、シンクロスタート待機状態になります。

マルチフィンガリングについて

鍵盤の◀より左の自動伴奏用鍵盤でのコードの押さえ方は、マルチフィンガリングという方法です。マルチフィンガリングとは、コードをシングルフィンガー(コードの簡単な押さえ方)で押さえても、フィンガード(通常のコードの押さえ方)で押さえても、PSR-185/77がそのコードを自動的に識別するという便利な機能です。

PSR-185/77は、電源を入れると自動的にマルチフィンガリングになりますが、シングルフィンガー、フィンガードいずれかに固定することもできます。



シングルフィンガーに固定するには

電源を切り、[-] ボタンを押しながらもう一度電源を入れます。マルチディスプレイに「SF」が表示され、シングルフィンガーに固定されます。

フィンガードに固定するには

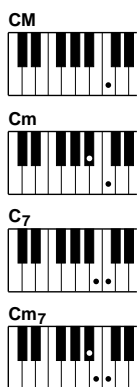
電源を切り、[+] ボタンを押しながらもう一度電源を入れます。マルチディスプレイに「F」が表示され、フィンガードに固定されます。

一度電源を切って電源を入れ直すとマルチフィンガリングに戻ります。

シングルフィンガー

自動伴奏用鍵盤で、3本以内の指を使って、メジャー、マイナー、セブンス、マイナーセブンスのコードを演奏することができます。

シングルフィンガーのコードの押さえ方



メジャー (M) コード

ルートキー(根音)を押さえてください。

マイナー (m) コード

ルートキーと、ルートキーより左側の黒鍵を同時に押さえてください。

セブンス (7) コード

ルートキーと、ルートキーより左側の白鍵を同時に押さえてください。

マイナーセブンス (m7) コード

ルートキーと、ルートキーより左側の黒鍵と白鍵を同時に押さえてください。

メモ

コード押鍵は自動伴奏用鍵盤の範囲内であれば、オクターブに影響されません。たとえば、自動伴奏用鍵盤にあるC1とC2はどちらを押さえても同じ伴奏が演奏されます。

シングルフィンガーモードに固定した場合、自動伴奏用鍵盤はC1~C2に変更されます。

メモ

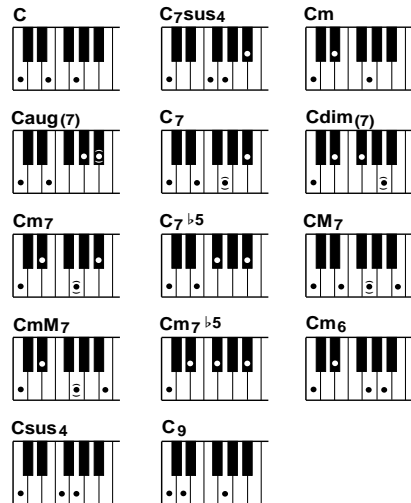
ルートキー(根音)と押さえる鍵盤



フィンガード

自動伴奏用鍵盤でコードを押さえると、そのコードと選ばれたスタイルに従って伴奏が演奏されます。

Cのコードバリエーション



メモ

カッコ()内の鍵盤は押さえなくてもかまいません。コードはすべて基本形で書かれていますが、その転回形も可能です。ただし、以下の場合を例外とします。

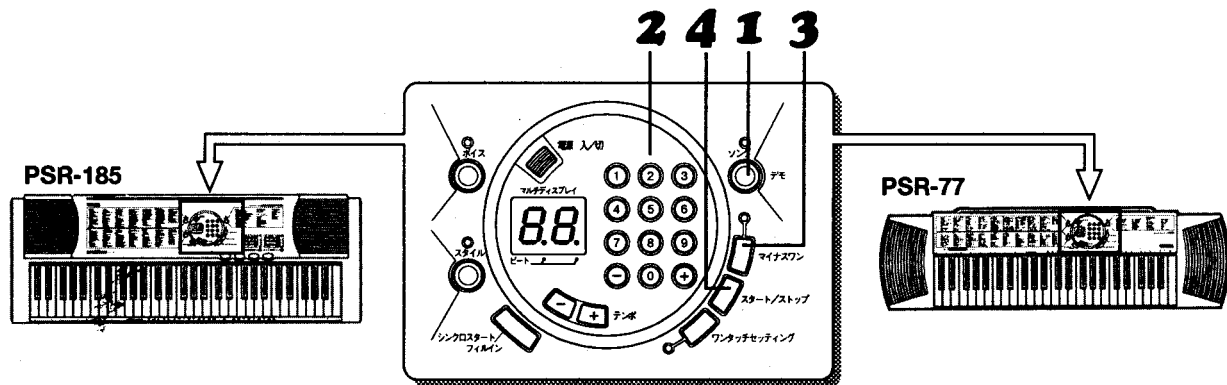
- aug、dim(7)は押鍵の最低音を根音とみなします。
 - 7b5は押鍵の最低音を根音または7とみなします。
 - m6と9は基本形だけを受け付けます。
 - aug7はaugとして、dim7はdimとみなします。
- フィンガードに固定した場合、黒鍵を含めて隣り合う3音を押さえると、コード演奏がキャンセルされ、リズムのみの演奏になります。

デモ曲をマイナスワン演奏してみましょう

PSR-185/77にはバラエティに富んだ20種類のデモ曲（ソング）がはいっています。マイナスワン演奏とはデモ曲のメロディ部分を消して、鍵盤で演奏できる機能のことです。

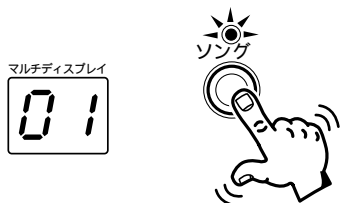
4ページ「デモ曲を鳴らしてみよう」を参照してデモ曲を聴き、好みのデモ曲を選んでマイナスワン演奏してみましょう。

※演奏する時は、16～25ページの楽譜を参考にしてください。



1 ソングボタンを押して、ランプを点灯させます。

ソングボタンを押してソングランプを点灯させると、ソングモードになります。マルチディスプレイには、選ばれているソングナンバーが表示されます。



3 マイナスワンボタンを押して、ランプを点灯させます。



4 マイナスワン演奏をスタート/ストップします。

スタート/ストップボタンを押すと、デモ曲のマイナスワン演奏がスタートします。楽譜を見ながらデモ曲のメロディ部分を演奏してみましょう。

マイナスワン演奏は、選んだ曲を繰り返して演奏します。スタート/ストップボタンを押すと、マイナスワン演奏がストップします。



2 ナンバー [1] ~ [0], [+], [-] ボタンを使ってソングナンバーを選びます。

ナンバー [1] ~ [0] ボタンを使って、01 ~ 20の中からソングナンバーを選びます。ナンバーは「10の位」、「1の位」の順番に、2つのナンバーボタンを押してください。



メモ

ジャムトラック（ソングナンバー21～40）に関しては12ページを参照してください。

電源を入れた時、ソングナンバーは01が選ばれています。

メモ

マイナスワン演奏中に、マイナスワンボタンを押してランプを消灯させると、メロディ部分が演奏されず。

スタート前にシンクロスタート/フィルインボタンを押せば、鍵盤を押さえてマイナスワン演奏をスタートすることができます。（シンクロスタート）

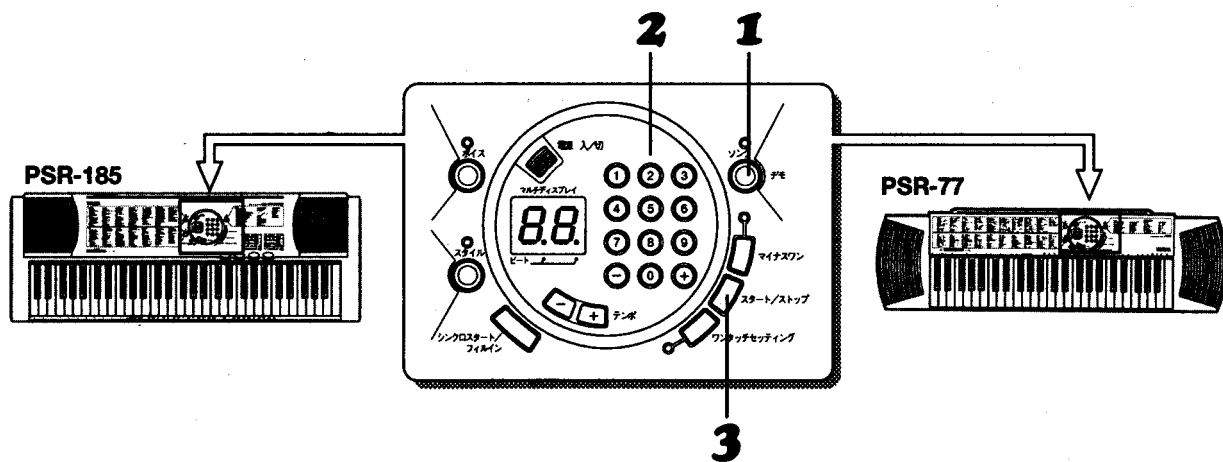
ワンタッチセッティングのランプが点灯している時にデモ曲を選ぶと、その曲のメロディに使われているボイスが自動的に選ばれます。（14ページ参照）スタイル演奏時に、マイナスワンボタンを押すと、リズムとベースだけの演奏になります。

ジャムトラックを使って演奏してみましょ

PSR-185/77には、20種類のジャムトラックがはいっています。ジャムトラックとは、いろいろな音楽スタイルの典型的なコード（和音）進行がプログラムされているものです。

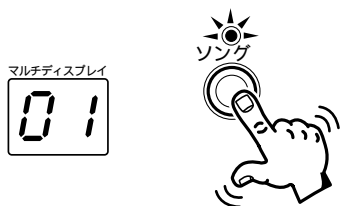
ジャムトラックを鳴らしながら、すべての鍵盤を使ってメロディを演奏することができます。自分の好みのジャムトラックを選び、伴奏に合わせて演奏してみましょ。

演奏する時は、13ページ「ジャムトラックコード進行リスト」を参考にしてください。



1 ソングボタンを押して、ランプを点灯させます。

ソングボタンを押してソングランプを点灯させると、ソングモードになります。マルチディスプレイには、選ばれているソングナンバーが表示されます。



メモ ジャムトラックを選ぶと、そのジャムトラックに適した標準テンポが自動的に選ばれます。
41以上のジャムトラックナンバーは選べません。

3 ジャムトラックをスタート/ストップします。

スタート/ストップボタンを押すと、ジャムトラックの演奏がスタートします。伴奏に合わせて、自由に演奏してみましょ。

ジャムトラックは、同じコードパターンを繰り返し演奏します。

スタート/ストップボタンを押すと、ジャムトラックの演奏がストップします。

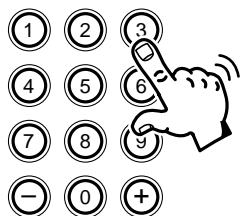


メモ ワンタッチセッティングランプが点灯している時にジャムトラックを選ぶと、そのジャムトラックのメロディに最適なボイスが自動的に選ばれます。（14ページ参照）

スタート前にシンクロスタート/フィルインボタンを押せば、鍵盤を押さえてジャムトラックをスタートすることができます。（シンクロスタート）

2 ナンバー [1] ~ [0], [+], [-] ボタンを使ってジャムトラックのナンバーを選びます。

ナンバー [1] ~ [0] ボタンを使って、21 ~ 40の中からジャムトラックのナンバーを選びます。ナンバーは「10の位」、「1の位」の順番に、2つのナンバーボタンを押してください。



ジャムトラックコード進行リスト

21 ダンス (♩=120)

Am7	×	Em7	×
Dm7	×	Am7	×

22 ラップ (♩=116)

Am7	×	×	×
Am7	×	×	×

23 ファンク (♩=92)

C7	F7	C7	F7
----	----	----	----

24 ソウルバラード (♩=104)

C	×	×	×
Am	×	×	×
Dm7	×	×	×
G7	×	Gaug	×

25 マイナーブルース (♩=144)

Am	×	×	×
Dm	×	Am	×
E	×	Am	×

26 ヘビーメタル (♩=120)

C	×	B♭	C
---	---	----	---

27 ブギウギ (♩=136)

C	×	×	×
F	×	C	×
G	F	C	G

28 ロックンロール (♩=144)

C	Am	F	G
---	----	---	---

29 リズム&ブルース (♩=136)

C7	F7	G7	F7	C7
----	----	----	----	----

30 スローロック (♩=88)

C	Am7	F	G7
---	-----	---	----

31 ジャズブルース (♩=160)

C7	F7	C7	×		
F7	×	C7	A7		
Dm7	G7	C7	A7	Dm7	G7

32 ジャズワルツ (♩=192)

C7	×	×	×
C7	×	×	×
F7	×	×	×
C7	×	×	×
G7	×	G#7	G7
C7	×	×	×

33 フュージョン (♩=128)

Dm7	×	G7	×
-----	---	----	---

34 ボサノバ (♩=160)

Em7	E♭7	Dm7	D♭7
-----	-----	-----	-----

35 サンバ (♩=112)

C	F	G	×	×	×
---	---	---	---	---	---

36 タンゴ (♩=124)

E7	×	Am	×
----	---	----	---

37 スカ (♩=160)

Am	×	Dm	×
----	---	----	---

38 カントリー (♩=120)

C	F	C	G7	
C	F	C	G7	C

39 マーチ (♩=116)

C	×	G7	C
---	---	----	---

40 ニューエイジ (♩=84)

C	×	C#	C
---	---	----	---

ワンタッチセッティングを活用してみましょー

PSR-185/77には、100種類のスタイルと40種類のソングそれぞれに、最も適したボイスがあらかじめ設定されています。ワンタッチセッティングボタンを押せば、ワンタッチでスタイル/ソングに最適なボイスを呼び出すことができ、たいへん便利です。

ワンタッチセッティングで呼び出されるボイス/テンポは、以下のページを参照してください。

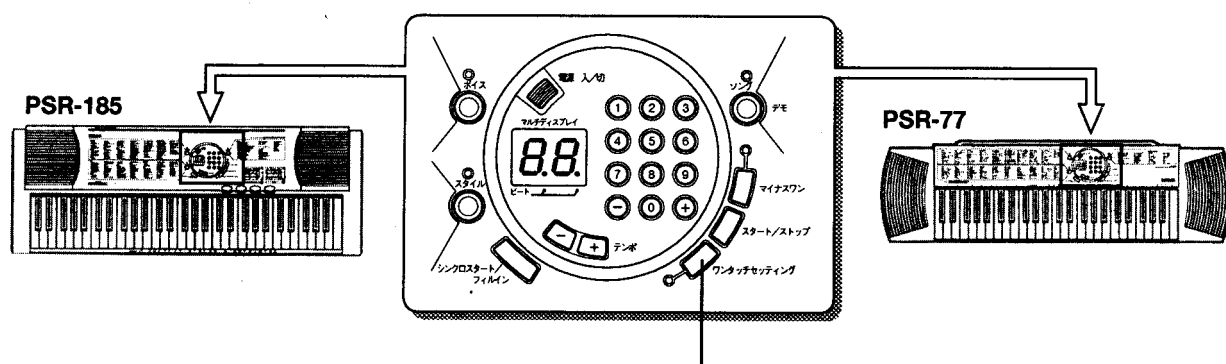
スタイル.....26ページ「ワンタッチセッティングリスト」

ソング（01～20：デモ曲）.....16ページ「デモ曲楽譜集」

ソング（21～40：ジャムトラック）26ページ「ワンタッチセッティングリスト」



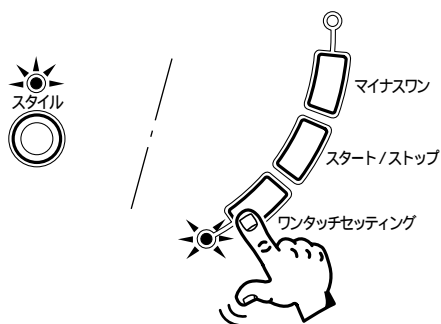
電源を入れた時、ワンタッチセッティングはオフ（ランプ消灯）に設定されています。



ワンタッチセッティングボタン

スタイルモード（スタイルランプ点灯）

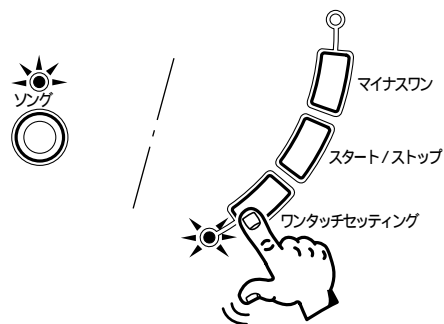
ワンタッチセッティングボタンを押してランプを点灯させると、選ばれているスタイルに最適なボイス、および標準テンポが呼び出されます。（P.26 ワンタッチセッティングリスト参照）



スタイルの演奏中/演奏停止中に問わず、ワンタッチセッティングボタンは有効です。

ソングモード（ソングランプ点灯）

ワンタッチセッティングボタンを押してランプを点灯させると、選ばれているデモ曲のメロディに使われているボイス、または選ばれているジャムトラックに最適なボイス、および標準テンポが呼び出されます。



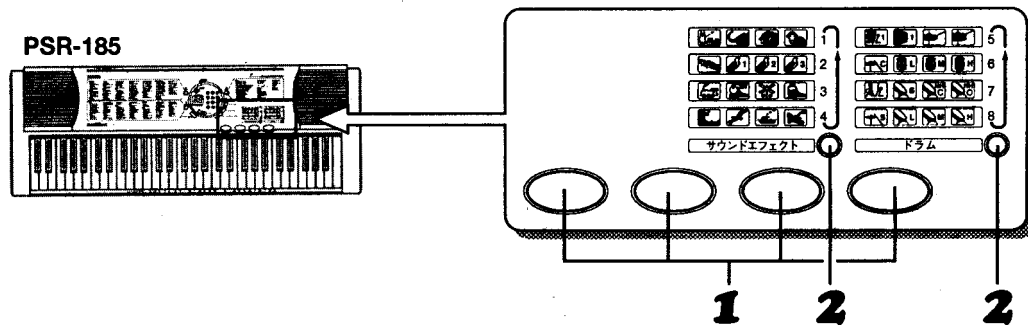
デモ曲/ジャムトラックの中には、曲/コード進行に従って途中でボイスが変わるものがあります。

デモ曲/ジャムトラックの演奏中/演奏停止中に問わず、ワンタッチセッティングボタンは有効です。

パッドを鳴らしてみましょ (PSR-185)

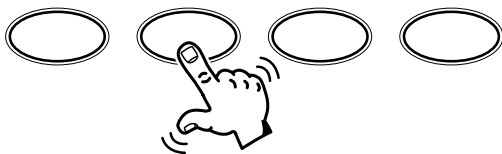
PSR-185には4つのパッドがあります。パッドを使って、サウンドエフェクト (4×4セット = 16種類) やドラム (4×4セット = 16種類) の音色を鳴らしてみましょ。

パッドは、いつでも鳴らすことができます。パッドの音色 (セット1~8) を切り替えて、演奏のイントロや間奏にサウンドエフェクトを鳴らしたり、伴奏にドラム音を付け加えて演奏してみましょ。



1 パッドをたたいてみましょ

電源を入れた時は、サウンドエフェクトの「1」(サファリ) が選ばれています。パッドをたたいて、鳴らしてみましょ。



2 パッドの音色 (セット) を変更してみましょ

サウンドエフェクトボタン、またはドラムボタンを押すと、選ばれているセットのナンバーがマルチディスプレイに表示されます。

以下の方法で、サウンドエフェクトボタン/ドラムボタンを押してパッドの音色を切り替えてみましょ。

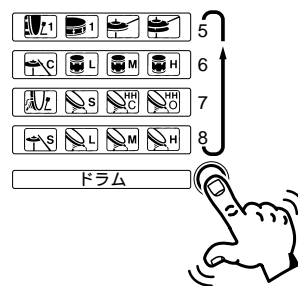
サウンドエフェクト (セット1~4) を鳴らしたい場合



サウンドエフェクトボタンを押すたびに、セットのナンバーが1つずつ増加します。セット4が選ばれている時に、サウンドエフェクトボタンを押すとセット1に戻ります。(1 → 2 → 3 → 4 → 1 → 2 ...)

セットナンバー/ネーム	パッドの音色			
1 サファリ	アフリカンパーカッション	象	ライオン	猿
2 森	小川のせせらぎ	鳥1	鳥2	鳥3
3 鉄道	汽笛	蒸気機関車	踏切	電車
4 海	波音	かもめ	タグボート	霧笛

ドラム (セット5~8) を鳴らしたい場合は...



ドラムボタンを押すたびに、セットのナンバーが1つずつ増加します。セット8が選ばれている時に、ドラムボタンを押すとセット5に戻ります。(5 → 6 → 7 → 8 → 5 → 6 ...)

セットナンバー/ネーム	パッドの音色			
5 アコースティックドラム1	バスドラム1	スネアドラム1	ハイハットクローズ	ハイハットオープン
6 アコースティックドラム2	クラッシュシンバル	タムロー	タムミッド	タムハイ
7 シンセドラム1	シンセバスドラム	シンセスネアドラム	シンセハイハットクローズ	シンセハイハットオープン
8 シンセドラム2	スプラッシュシンバル	シンセタムロー	シンセタムミッド	シンセタムハイ

メモ

パッドのセットの変更には、ナンバー [1] ~ [0]、[+]、[-] ボタンは使用できません。

サウンドエフェクトの中には、パッドを押している間、鳴り続けるものがあります。

サウンドエフェクトボタン/ドラムボタンを押した後、約2秒間何の操作もしないと、マルチディスプレイは自動的にボイスナンバー/スタイルナンバー/ソングナンバー表示のいずれかに戻ります。

複数のパッドを同時に使用することができますが、パッド以外のボタンを同時に押し続けていると、パッドは発音しない場合があります。

PSR-185/77の最大同時発音数は12です。12音を越えると、ある音が途中で消えたり、パッドが鳴らなくなったりする場合があります。

ワンタッチセッティングリスト

ワンタッチセッティングボタンを押すと、以下のボイスとテンポが自動的に選ばれます。

スタイル

スタイルナンバー / スタイル名	ボイスナンバー / ボイス名	テンポ
ポップ		
01 8ビートポップ	32 シンセプラス	152
02 デトロイトポップ	33 シンセリード	188
03 16ビートポップ	42 コーラスエレビ	104
04 ポップロック	56 ファンタジー2	200
05 ポップシャッフル	50 エレビパッド	120
06 フォークロック	52 フォークギターパッド	92
07 ポップバラード	01 ピアノ	92
08 8ビートライト	26 フルード	92
09 16ビートバラード	19 ビブラフォン	80
10 6/8ロック	05 エレクトリックオルガン	68
ダンス		
11 ハウス1	50 エレビパッド	112
12 ハウス2	53 ジャズギターパッド	116
13 ヒップホップ	55 ファンタジー1	112
14 ダンスシャッフル1	51 エレビとビブラフォン	112
15 ダンスシャッフル2	52 フォークギターパッド	112
16 グランドビート1	49 ピアノとビブラフォン	96
17 グランドビート2	24 プラスアンサンブル	104
18 ラップ	18 オーケストラヒット	116
19 ダンスファンク	04 クラビ	112
20 ディスコ	30 パンフルード	108
21 ディスコソウル	50 エレビパッド	140
22 ディスコポップ	32 シンセプラス	120
23 ユーロビート	54 プラスアンサンブルデュアル	120
リズム&ブルース		
24 リズム&ブルース1	50 エレビパッド	128
25 リズム&ブルース2	82 トランペットデュエット	120
26 リズム&ブルースバラード	31 ハーモニカ	96
27 ファンク	22 トロンボーン	120
28 ソウルバラード1	42 コーラスエレビ	88
29 ソウルバラード2	19 ビブラフォン	84
30 ゴスペル1	05 エレクトリックオルガン	104
31 ゴスペル2	05 エレクトリックオルガン	104
32 6/8ブルース	29 テナーサククス	92
ロック		
33 ツイスト	73 ピアノブロック	152
34 ロックンロール	05 エレクトリックオルガン	144
35 ハードロック	44 12弦ギター	140
36 ヘビーメタル	13 ディストーションギター	120
37 8ビートロック	52 フォークギターパッド	116
38 8ビートソフト	30 パンフルード	128
39 ロックポップ	42 コーラスエレビ	120
40 ロッククラシック	68 ピアノサステイン	120
41 ロックバラード	05 エレクトリックオルガン	88
42 ロカビリー	29 テナーサククス	176
43 ブギウギ	41 ホンキートンクピアノ	136
44 ロックブギ	77 オルガントリオ	156
45 ロックシャッフル	24 プラスアンサンブル	136
46 ロッカバラード	22 トロンボーン	88
ラテン		
47 メレンゲ	21 トランペット	148
48 サンバ	19 ビブラフォン	108
49 チャチャ	54 プラスアンサンブルデュアル	152
50 モダンチャチャ	22 トロンボーン	176

スタイルナンバー / スタイル名	ボイスナンバー / ボイス名	テンポ
51 ボサノバ	09 ジャズギター	160
52 ポップボサ	31 ハーモニカ	140
53 スローボサ	19 ビブラフォン	120
54 マンボ	22 トロンボーン	148
55 ルンバ	26 フルード	128
56 タンゴ	07 アコーデオンの	124
57 サルサ	82 トランペットデュエット	104
58 ビギン	22 トロンボーン	88
59 ラテンロック	81 マリンバトリオ	68
カリビアン		
60 スカ	22 トロンボーン	160
61 ソカ	05 エレクトリックオルガン	124
62 レゲエ	24 プラスアンサンブル	136
63 カリブソ	20 マリンバ	112
ジャズ		
64 ラグタイム	82 トランペットデュエット	200
65 デキシード	22 トロンボーン	116
66 ビッグバンド	81 マリンバトリオ	152
67 ビッグバンドバラード	72 ビブラフォンサステイン	84
68 ジャズバラード	26 フルード	96
69 スイング	72 ビブラフォンサステイン	152
70 スイングワルツ	21 トランペット	104
71 ビバップ	29 テナーサククス	208
72 モダンジャズ	80 ビブラフォンブロック	140
73 ジャズサンバ	26 フルード	140
74 ジャズラテン	33 シンセリード	128
75 ジャズボサ	84 フルードデュエット	112
76 フュージョン	33 シンセリード	120
77 フュージョンシャッフル	49 ピアノとビブラフォン	100
78 ジャズワルツ1	50 エレビパッド	192
79 ジャズワルツ2	31 ハーモニカ	120
カントリー		
80 ブルーグラス	07 アコーデオンの	112
81 カントリー	74 ピアノカントリー	120
82 カントリーロック	05 エレクトリックオルガン	132
83 カントリーシャッフル	78 バイオリンカントリー	120
84 カントリーバラード	31 ハーモニカ	76
85 カントリーワルツ	80 ビブラフォンブロック	88
ボールルーム		
86 フォックストロット	09 ジャズギター	204
87 ジャイブ	11 エレクトリックギター	176
88 スローフォックス	27 クラリネット	116
89 パソドブレ	14 バイオリン	132
90 ウィンナワルツ	17 スtringス	200
その他		
91 ショーチューン	73 ピアノブロック	144
92 演歌	29 テナーサククス	120
93 マーチ1	82 トランペットデュエット	112
94 マーチ2	25 ピッコロ	124
95 ボルカ1	07 アコーデオンの	120
96 ボルカ2	27 クラリネット	128
97 ボレロ	83 ホルンデュエット	72
98 ワルツ1	55 ファンタジー1	180
99 ワルツ2	17 スtringス	148
100 ニューエイジ	48 ピアノパッド	84

ジャムトラック

ジャムトラックナンバー / ジャムトラック名	ボイスナンバー / ボイス名	テンポ
21 ダンス	48 ピアノパッド	120
22 ラップ	18 オーケストラヒット	116
23 ファンク	49 ピアノとビブラフォン	92
24 ソウルバラード	29 テナーサククス	104
25 マイナーブルース	01 ピアノ	144
26 ヘビーメタル	13 ディストーションギター	120
27 ブギウギ	01 ピアノ	136
28 ロックンロール	05 エレクトリックオルガン	144
29 リズム&ブルース	54 プラスアンサンブルデュアル	136
30 スローロック	50 エレビパッド	88

ジャムトラックナンバー / ジャムトラック名	ボイスナンバー / ボイス名	テンポ
31 ジャズブルース	66 ピアノ / ビブラフォン	160
32 ジャズワルツ	29 テナーサククス	192
33 フュージョン	42 コーラスエレビ	128
34 ボサノバ	26 フルード	160
35 サンバ	82 トランペットデュエット	112
36 タンゴ	07 アコーデオンの	124
37 スカ	22 トロンボーン	160
38 カントリー	78 バイオリンカントリー	120
39 マーチ	21 トランペット	116
40 ニューエイジ	50 エレビパッド	84

ジャムトラックのコード進行に従って、途中でボイスが変わる場合があります。

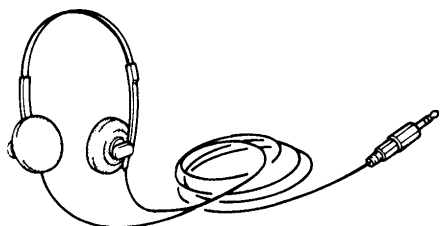
故障かな？と思ったら

現象	原因	解決方法
電源 入/切ボタンを押した時に、ポツンという音がする。	本体に電流が流れるためです。	故障ではありません。
音が歪んだり、突然出なくなったりする。	電池が消耗しています。	電池を交換してください。
同時に押さえた鍵盤の音が全部鳴らない。	同時に鍵盤を押さえ過ぎです。	PSR-185/77の最大同時発音数は12です。自動伴奏やパッド演奏なども含めて最大12音の範囲で鳴らすことができます。(7、15ページ参照)
押さえる鍵盤によって音質や音量が異なる。	ボイスの中には、よりリアルな楽器表現を可能にするために、いくつかの鍵域に分けて楽器音をサンプリングするマルチサンプリングという方法で作られたものがあります。それらのボイスは、音域によって音質や音量が若干異なる場合があります。	故障ではありません。
電源が入らない。	続けて電源 入/切ボタンを押すと、電源が入らない場合があります。	電源を切った後は、約2秒ほどたってから、電源 入/切ボタンを押してください。

オプション（別売）商品のご紹介

ヘッドフォン

HPE-150 ¥4,000
HPE-3 ¥3,000



キーボードスタンド

L-2C ¥6,000



商品の金額には、消費税は含まれておりません。

PSR-185/77仕様

	PSR-185	PSR-77
キーボード	レギュラーサイズ61鍵 (C1~C6)	レギュラーサイズ49鍵 (C1~C5)
ボイス	AWM100音色 (最大同時発音数12)	
スタイル	100スタイル	
オートアカンパニメント		
フィンガリング	マルチフィンガリング	
パッド (ドラム) (サウンドエフェクト)	4×4音色 4×4音色	- -
ソング (マイナスイワン機能付)	デモ曲 : 20 ジャムトラック : 20	
コントロール	電源入/切ボタン、ボイス/スタイル/ソングボタン、ナンバー [1] ~ [0], [+], [-] ボタン、テンポ [+], [-] ボタン、マイナスイワンボタン、スタート/ストップボタン、ワンタッチセッティングボタン、シンクロスタート/フィルインボタン、音量コントロール、パッド×4 (PSR-185)、サウンドエフェクトボタン (PSR-185)、ドラムボタン (PSR-185)	
リアパネル端子	電源アダプター端子、ヘッドフォン/外部出力端子	
アンプ実用 最大出力	(電源アダプター使用時) 1.4W+1.4W (EIAJ) (乾電池使用時) 2.7W+2.7W (EIAJ)	3.8W (EIAJ) 3.8W (EIAJ)
スピーカー	10cm × 2 4Ω	10cm × 2 4Ω
定格電源	DC 10-12V : 単1乾電池 (1.5V) × 6、電源アダプターPA-3	
電池持続時間 (マンガン電池使用時)	約14時間 (連続デモ演奏時、ボリューム約70%)	約45時間 (連続デモ演奏時、ボリューム約70%)
消費電力 (電源アダプターPA-3使用時)	10.0W	9.0W
寸法 (幅 × 奥 × 高mm)	931 × 347 × 137	964 × 287 × 113
重量 (kg)	4.3	3.6
付属品	電源アダプターPA-3、譜面立て	
オプション (別売) 商品	ヘッドフォンHPE-3/150、キーボードスタンドL-2C、ソフトケースSCC-11 (PSR-77)/SCC-32 (PSR-185)/SCC-34 (PSR-185)	

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更する場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

保証書

本機には保証書がついています。

保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日から1年間です。

保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

持込み修理のお願い

まず本書の「故障かな?と思ったら」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。

製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(修理受付および修理品お持ち込み窓口)

北海道サービスセンター 〒064	札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内 TEL. 011-513-5036
仙台サービスセンター 〒983	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL. 022-236-0249
首都圏サービスセンター 〒211	川崎市中原区木月1184 TEL. 044-434-3100
東京サービスステーション* 〒108 (*お持ち込み修理のみお取り扱い)	東京都港区高輪2-17-11 TEL. 03-5488-6625
浜松サービスセンター 〒435	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内 TEL. 053-465-6711
名古屋サービスセンター 〒454	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F TEL. 052-652-2230
大阪サービスセンター 〒565	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内 TEL. 06-877-5262
四国サービスセンター 〒760	高松市丸亀町8-7 ヤマハ(株)高松店内 TEL. 0878-22-3045
広島サービスセンター 〒731-01	広島市安佐南区西原6-14-14 TEL. 082-874-3787
九州サービスセンター 〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL. 092-472-2134
[本社]カスタマーサービス部 工場内	〒435 浜松市上西町911ヤマハ(株)宮竹 工場内 TEL. 053-465-1158

各支店営業課リスト

北海道支店 LM営業課 〒064	札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内 TEL. 011-512-6113
仙台支店 LM営業課 〒980	仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命仙台青葉通ビル TEL. 022-222-6147
東京支店 特販営業課 〒108	東京都港区高輪2-17-11 TEL. 03-5488-5475
関東支店 LM営業課 〒108	東京都港区高輪2-17-11 TEL. 03-5488-1688
名古屋支店 LM営業課 〒460	名古屋市中区錦1-18-28 TEL. 052-201-5199
大阪支店 特販営業課 〒542	大阪市中央区南船場3-12-9 心齋橋プラザビル東館 TEL. 06-252-7491
広島支店 LM営業課 〒730	広島市中区紙屋町1-1-18 TEL. 082-244-3749
九州支店 LM営業課 〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL. 092-472-2130
電子楽器営業部 〒108	東京都港区高輪2-17-11
ポータブル楽器営業課	TEL. 03-5488-6641

住所および電話番号は変更になる場合があります。

YAMAHA
YAMAHA CORPORATION

ヤマハ株式会社

M.D.G., EMI Division
© Yamaha Corporation 1995

Printed in China